

平成22年1月28日

各 位

上場会社名 京セラ株式会社  
 代表者 取締役社長 久芳 徹夫  
 (コード番号 6971)  
 問合せ先責任者 取締役 執行役員常務 青木 昭一  
 (TEL 075-604-3500)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(表示金額は百万円未満を四捨五入しています。)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,040,000	44,000	57,000
今回発表予想(B)	1,050,000	62,000	57,000
増減額(B-A)	10,000	18,000	0
増減率(%)	1.0	40.9	0.0
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,128,586	43,419	55,982

## 修正の理由

当期9ヵ月通算(平成21年4月1日から同12月31日)においては、部品需要は総じて順調に回復基調で推移するとともに、国内を中心にソーラー関連製品の需要拡大が続きました。これにより、当期9ヵ月通算の売上高は順調に回復しました。また、利益については、部品需要の回復に加え、グループを挙げて原価低減をはじめ徹底したコスト削減や生産性向上に努めた結果、売上の回復以上に収益性の改善を図ることができました。

平成22年3月期第4四半期(平成22年1月1日から同3月31日)については、世界経済や為替相場の動向等、不透明な要因はあるものの、当社は情報通信市場及び環境エネルギー市場での事業拡大を見込んでいます。

当社の持分法適用関連会社でありPHS事業を営む(株)ウィルコムは、平成21年9月24日に産業活力再生特別措置法所定の特定認証紛争解決手続の申請を行い受理されましたが、平成22年1月28日時点において、事業再生計画案は決議されておらず引き続き協議中です。今後の状況によっては、当社の(株)ウィルコムに対する売掛金の評価、及び当社の財政状態あるいは経営成績に影響が及ぶ可能性があります。上記の通期連結業績予想において、その影響は考慮していません。なお、平成21年12月末における当社の(株)ウィルコムに対する売掛金残高は15,350百万円です。

## (注)

当期より、米国財務会計基準審議会が発行した非支配持分に関する会計基準の新規適用に伴い、「当期純利益」から「当社株主に帰属する当期純利益」へ名称を変更しています。また、前期実績の「希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(通期)」は、平成21年3月期の希薄化後の期中平均株式数を用いて算出しています。

1) 当社株主に帰属する当期純利益は以下の通りです。

平成22年3月期通期

前回発表予想(A) 34,000百万円  
 今回発表予想(B) 34,000百万円  
 増減額(B-A) 0百万円  
 増減率(%) 0.0%

(ご参考)前期実績(平成21年3月期通期) 29,506百万円

2) 希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は以下の通りです。

平成22年3月期通期

前回発表予想(A) 185円26銭  
 今回発表予想(B) 185円26銭  
 増減額(B-A) 0円00銭  
 増減率(%) 0.0%

(ご参考)前期実績(平成21年3月期通期) 157円23銭

以 上